

# 第3回能登総合シンポジウム

3rd Symposium of Integrated Studies on NOTO Peninsula

## ～フィールド研究を総合化し、将来計画とその実現の場に～

能登は教育研究の場として様々な価値を持っている場所です。その教育研究的価値は、今後の社会を作っていくために求められている様々な知恵や行為に結びつくものです。すでに、能登半島の珠洲では「学術面から環日本海地域の環境ガバナンスの確立を目指す試み(通称「能登スーパーサイト構想」)や人口減少や過疎化を抱えた地域の再生・活性を確実にものにするための対策を作り出す活動(通称「里山里海再生学」)」が始まっています。これらの活動は、能登の持つ教育研究的価値の大きさや将来性を我々に示してくれているものと考えています。今回のシンポジウムは、昨年1月に開催されたシンポジウムを受け継ぎ、この一年の教育研究活動の成果を発表するとともに、能登における今後の研究教育活動の更なる発展を期すための様々な分野の将来計画と実現に向けた作業案などを作る場であります。また、これらのことが、未曾有の困難に見舞われている日本の現状を未来有るものにする手がかりにつながるように努める場でもあります。みなさまの参加を期待します

日時：2012年3月16日(金)、17日(土)

場所：珠洲商工会議所2Fホール(珠洲市飯田町 TEL:0768-82-1115)

【往路バス】16日10:00 JR金沢駅西口発 ⇒ 12:00 能登空港発 ⇒ 12:40 珠洲商工会議所着

【復路バス】17日16:20 珠洲商工会議所発 ⇒ 19:00 JR金沢駅西口着

3月16日13:00-15:30 開会挨拶:岩坂泰信教授(金沢大学)

来賓挨拶:泉谷満寿裕市長(珠洲市)

第1セッション 大気科学 パート1 司会:松木篤、洪天祥(金沢大学)

能登で見た大気(その1): 偏西風と日本海の影響

・「セッションの狙いそして今後の大気観測研究」

岩坂泰信(金沢大学)

・「能登半島上空に風送される大気バイオエアロゾル～

西からの旅人と北からの旅人～」

牧 輝弥(金沢大)

・「非培養法で同定した能登上空に浮遊する微生物, 2008～2010春季」

柿川真紀子(金沢大学)

・「能登スーパーサイトの技術が南極観測に新たなページを」

小林史尚(金沢大学)

・「最近10年の日中韓露のPAH、NPAH大気汚染の変化」

早川和一(金沢大学)

・「北陸地方の大気水圏環境中におけるアルデヒド類の動態」

渡辺幸一(富山県立大学)

・「雷・雲活動研究から見た北陸」

中城智之(福井工業大)

コメント:X. Tang, M. Hu, Y. Wei(北京大学、中国科学院院士)



金沢 Kanazawa City



3月16日15:45-18:00

第2セッション 半島科学 司会:長尾誠也(金沢大学)

半島環境学の創成

・「セッションの狙いと意義」長尾誠也(金沢大学)

・「津軽半島の特長と抱える課題」永井雄人(白神自然学校)

・「渥美半島の繁栄そしてこれから」

児玉剛則(社団法人環境創造研究センター)

・「能登半島の特長」中村浩二(金沢大学)

・「半島科学研究プロジェクト」長尾誠也(金沢大学)

意見交換:「今後の研究の進め方と連携」をテーマに

交流会 3月16日 18:30-20:00

会場:カフェ・ド・ランプ(珠洲商工会議所近く)

参加費:1人4000円

※終了後、珠洲ビーチホテルの迎えバス

また、翌日17日は珠洲ビーチホテルから8:30にバス出発

併催行事

第2回 能登サイエンスカフェ

3月17日 14:30～16:00  
会場: ラポルトすず「E カフェ」  
(珠洲商工会議所横)

テーマ:「その後の黄砂研究」  
お話し:小林史尚さん

「能登発南極着わくわくバイオエアロゾル研究」  
牧 輝弥さん

「ほんまの地産地消タイプ納豆」  
登野昌典さん

参加費:無料 各々飲み物を注文ください

第3回 能登の里山里海 写真展

3月16日、17日 終日  
会場: 珠洲商工会議所2Fホール  
※写真家・足袋拔豪氏による  
能登の空、里海のアンクル

【参加希望・宿泊・問い合わせ】連絡先 TEL:076-234-4645

第3回能登総合シンポジウム事務局 松木 篤 matsuki@staff.kanazawa-u.ac.jp 木下礼以子 ram@staff.kanazawa-u.ac.jp

3月17日09:00-12:00

### 第3セッション 大気科学 パート2 司会:岩坂泰信、山田丸(金沢大学)

#### 水循環と大気質・環境科学・再生可能エネルギー

- ・「セッションの狙いそして今後の能登半島での研究」 岩坂泰信(金沢大学)
- ・「東アジア規模で見た日本付近の水循環の特徴」 谷口健司(金沢大学)
- ・「小水力発電の可能性と問題点」 木綿隆弘(金沢大学)
- ・「天草西海岸の観測活動とその能登観測の連携について」 張代洲(熊本県立大学)
- ・「能登スーパーサイトにおけるエアロゾル雲相互作用研究の展開」 松木篤(金沢大学)
- ・「環日本海域のエアロゾルの光学的特性の時間・空間変動」 青木一真(富山大学)
- ・「森林生態系のモニタリングについて(事例研究):ヘリコプターによるレーザ計測」 都竹正志(中日本航空)
- ・「人工衛星によるタクラマカン砂漠から日本までの黄砂観測」 加藤芳信(福井工業大学)

コメント:岩坂泰信(金沢大学)、柴田俊治(北陸電力)、近藤隆之(富山県環境科学センター)

## ※ 会場を1Fの研修室に移動

3月17日13:30-16:00

### 第4セッション 生態学 司会:中村浩二(金沢大学)

#### GIAHS「能登の里山里海」と生物多様性:いま、何をすべきか

- ・「能登GIAHSと生物多様性:趣旨説明」 中村浩二(金沢大学)
- ・「能登の植物多様性:どこまで分かっているか」 高木政喜(NPO法人石川県自然史センター)
- ・「能登の里山にトキは必要か」 笠木哲也(金沢大学)
- ・「能登の里海に何が起きているか」 池森貴彦・坂井恵一(のと海洋ふれあいセンター)
- ・「能登の水稻生産現場における生物多様性保全」 伊藤浩二(金沢大学)
- ・「珠洲市『生物多様性戦略』づくりの現場から」 赤石大輔(NPO法人能登半島おらっちゃんの里山里海)

総合討論:コメンテーター(予定):

柳井清治(石川県立大学)、谷内口孝治(のと海洋ふれあいセンター)、佐南谷信龍(石川県環境部里山創成室)、  
金田直之(珠洲市企画財政課)、珠洲市内の農業法人関係者

16:00 閉会挨拶:中村浩二教授・学長補佐(金沢大学)

### 【共催】

第3回能登総合シンポジウム実行委員会

金沢大学フロンティアサイエンス機構「環日本海域の風、海流、人の環」

金沢大学環日本海域環境研究センター

金沢大学「持続可能な地域発展をめざす里山里海再生学の構築」

文部科学省科学技術戦略推進費「能登里山マイスター養成プログラム」

能登半島・里山里海自然学校

三井物産環境基金「能登半島における持続可能な地域発展を目指す里山里海アクティビティの創出」

日本財団助成事業「里山里海の生業と生態を学び教える能登いきものマイスターの養成」

### 【コーディネート】

金沢大学「能登オペレーティング・ユニット」

※金沢大学の「能登をフィールドとして学ぶ(教育)、考える(研究)を展開する」を全面的に支援しています。

### 金沢大学能登学舎の案内



〒927-1462  
珠洲市三崎町小泊33-7  
Tel: 0768-88-2568  
fax: 0768-88-2899

